

## 平成28年度滋賀県がん診療連携協議会・第3回研修推進部会 議事概要

日 時 平成29年2月21日(火) 18時00分～19時05分

場 所 滋賀医科大学医学部附属病院 3階 第3会議室

出席者 村田喜代史(滋賀医科大学医学部附属病院)

山中晃(大津赤十字病院)

財間正純(滋賀県立成人病センター)

多川晴美(滋賀医科大学医学部附属病院)

北川久美(大津赤十字病院)

高野厚子(滋賀県立成人病センター)

山崎道夫(公立甲賀病院)

中村洋美(公立甲賀病院)

吉川浩平(彦根市立病院)

木下千恵美(彦根市立病院)

田久保康隆(市立長浜病院)

山岸美紀(市立長浜病院)

武田佳久(高島市民病院)

澤井奈奈江(高島市民病院)

卜部諭(草津総合病院)

馬場正道(済生会滋賀県病院)

中野且敬(代理:嶋田)(近江八幡市立総合医療センター)

辻川知之(東近江総合医療センター)

森田潤(滋賀県歯科医師会)

瀧川政邦(滋賀県薬剤師会)

平田誠(滋賀県放射線技師会)

松井まり子(滋賀県臨床検査技師会)

玉井文子(滋賀県歯科衛生士会)

鈴木真理(滋賀県栄養士会)

野坂明子(滋賀県健康医療福祉部)

嶋田宏之(滋賀県立成人病センター)

欠席者 高見史朗(大津市民病院)

中村誠昌(長浜赤十字病院)

中村隆志(滋賀県医師会)

三上房枝(滋賀県看護協会)

寺田智祐(滋賀県病院薬剤師会)

オブザーバー 菊井津多子、藤田陽子、奥井さよ子(滋賀県がん患者団体連絡協議会)

(敬称略)

## 1. 報告

部会長から、前回の部会（平成28年10月28日開催）の議事録について、ご意見等があれば事務局までご連絡いただきたいとの依頼があった。

## 2. 議題

### (1) 平成28年度の取組について

#### 1) がん関係フォーラム、講演会等開催予定、受講人数について（資料1-1～3）

滋賀県のサイト「がん情報しが」に毎月掲載しているがん関係フォーラム、講演会等の情報を元に、各医療圏における講演会等について過不足等の確認、検討を行った。

(大津) 今年度は、肺がんに関するものが多く、血液、がん看護の領域において他の医療圏より多く開催した。

(湖南) 医療圏内の拠点病院、支援病院等が協力して、湖南がん診療ネットワークミーティングを定期的で開催しており、次年度も継続の予定である。成人病センターとしても、月1回程度のがん診療セミナーを開催していく予定である。

(甲賀) 開催の中心が甲賀病院のみとなっており、様々な研修を網羅的に開催することは困難である。その一方で、がん相談に力を入れており、生活面や、社労士の協力を得た就労支援に取り組んでいることが特徴かと感じている。

(東近江) 胃、泌尿器、緩和、薬物療法の分野で多く開催した。東近江総合医療センターとしては、近江八幡市立総合医療センターや滋賀医大と協力して、公開講座を開催している。

(湖東) 今年度は、がん診療の費用とその対応に関するものを開催した。開催件数がやや少なく、増加に向けた努力が必要と認識している。

(湖北) 小中学生向けのがん教育の出前授業や、一般の方を対象に図書館などに出向く出前授業も実施している。折り紙、ウィッグについては定期的で開催しており、全体としては一般向けのものが多いと感じている。

(湖西) 大腸のほか、緩和ケア、化学療法、リンパマッサージに関するものを開催した。がん教育も実施しており、今年度は4回開催し、好評と伺っている。

部会長から、部会として、講演会等の満足度、参加者数を確認しているところであること、多くの病院から報告いただき、満足度も高い値となっていることについて説明があり、引き続き、報告いただくことへの協力依頼があった。

また、講演会等の情報は、毎月「がん情報しが」に掲載しており、次年度分についても開催情報の提供依頼があった。加えて、講演会名称等についても内容が分かるようにサブタイトルを付けるなど、一般の方への配慮についての依頼があった。

#### 2) 看護ワーキングが行うがん看護研修の実施について（資料2）

多川委員から、がん看護研修Ⅱについて、今年度は5名が修了したこと、また、研修生に対するフォローアップ研修も実施して6名が受講した旨報告があった。

また、がん看護研修プログラムの累計の修了者数並びに医療圏別の数についても報告があった。

がん看護研修の今後の予定について質問があり、アクションプランの終了年度である平成29年度を一つの区切りと考えている旨回答があった。

### 3) 国立がん研究センターの受講調整について（資料3）

部会長から、国立がん研究センターによる研修で、滋賀県の推薦が必要なものは当部会で推薦順位の調整を行っているとの説明があった。

前回の部会で、受講対象が「都道府県がん診療連携拠点病院」であることが明らかとなったものを除いた結果、調整を要するものは、「がん化学療法医療チーム指導者養成研修」のみとなっていること、現時点で、平成29年度の国立がん研究センターの研修については公開されていない旨説明があった。

（参考：推薦順位は、平成29年度：彦根市立病院、平成30年度：市立長浜病院、平成31年度：長浜赤十字病院の順、第2回の部会で決定済み）。

### 4) 各団体の取組について（資料4）

各団体の平成28年度取組結果と平成29年度取組予定の報告があった。

（滋賀県歯科医師会）

28年度

- ・がん患者の口腔ケアに関する研修会を実施。
- ・歯科の無い病院に歯科医師・歯科衛生士を派遣する、歯科医師等派遣委託事業を実施、県内4病院に派遣した。

29年度

- ・口腔がん検診の実施を検討。
- ・歯科医師等派遣委託事業の継続。

（滋賀県薬剤師会）

28年度

- ・在宅ホスピス薬剤師のフォローアップ研修会を実施。
- ・滋賀医大や成人病センター等で行われるがん関連研修会への参画。
- ・注射薬に関する研修会を頻回に開催。

29年度

- ・在宅ホスピス薬剤師の認定研修会及びフォローアップ研修会を実施。
- ・若年の末期がん患者の増加に対応するための在宅皮下注射に関する研修会の準備。

（滋賀県放射線技師会）

28年度

- ・第2回部会での報告以降も、研修に加え、市民公開講座を実施。

29年度

- ・健康フェスティバルへの参加の他、複数回の学術研修会を予定。

一般の方の参加が少ないことが課題となっている旨発言があり、広報に関する意見交換を行った。

- ・県庁の健康医療課にポスター、チラシを送っていただければ、無料で所管の保健センター等に設置することができる。
- ・滋賀県薬剤師会では、地域の薬剤師会の会合が月1回程度あるので、それを經由して、無料で薬局へのチラシ配付、ポスター掲示が可能である。特に、ご年配の方は、紙媒体の広報が効果的と思われる。
- ・他の職能団体も対応いただけるのではないかと。
- ・本年2月に開催した滋賀県がん医療フォーラムでも、一般の方に多く参加していただくため、いろいろ取り組んだ。

アンケートからは、多くの部数を準備したこともあるが、チラシで知ったという方が多かった。

このほか、開催地が大津なので、大津市の広報誌にも掲載してもらったが、こちらの効果も高かった。ただ、市町が発行する広報誌への掲載は無料であるが、紙面も限られているので、依頼が多い場合は公共性を考慮して掲載される。

意外だったのは、ホームページで知った方が少なかったことである。

ポスターで知った方は、医療関係で多く、一般では少なかった。

タイトルの分かり易さも重要と考えて、テーマやパネルディスカッションの名称についても専門用語を避けるなどの工夫をした。

- ・タイトルを付けることについては、医療者向けの研修においても、勤務先が異なれば、関心も異なっているのが難しい。

#### (滋賀県臨床検査技師会)

##### 28年度

- ・一般の方向け並びに臨床検査技師向けのイベントを開催した。
- ・一般の方向けとしては、健康フェスティバルへの参加のほか、「検査と健康展」を開催した。
- ・公開講座も開催していたが、一般参加者が少なかったこともあり、「検査と健康展」では、顕微鏡を用いるなど体験型のものも取り入れた。また、多くの来場者が見込める商業施設で開催したところ、たまたま買い物に来ていた方の参加も多かった。
- ・広報に関しては、以前、大津市の回覧板を利用したことがあり、その際には多くの方が来られたが、最近は回覧するものが多いため、協力が得にくい状況である。

##### 29年度

- ・28年度に準じた活動を予定している。

#### (滋賀県歯科衛生士会)

##### 28年度

- ・歯科衛生士向けの研修会を開催。アンケートでも好評であった。

##### 29年度

- ・研修会について計画中。

(滋賀県栄養士会)

28年度

- ・今年度の診療報酬改定もあり、がんの栄養管理に関する研修を実施。

29年度

- ・栄養士の生涯学習の一環として、研修を計画中。

(2) 研修推進部会の取り組み評価（最終評価）、次年度アクションプランについて（資料5-1、2）

今年度の最終評価について、アクションプランに掲げている事項について確認した。

医療人の育成に係る研修の検討については、第一歩として、滋賀県病院薬剤師会に参加いただいた。

分野ごとの講演会、研修会等の過不足の改善検討に関しては、医療圏ごと、がんに関するテーマごとに検証し、改善案を検討したほか、今回は、広報についても意見交換を行った。

フォーラム・講演会等開催情報一覧表の表示項目の検討については、参加者数の増加に向けて、講演会の名称を分かり易くすることについての意見交換を行った。

県内統一の看護研修会の実施については、今回報告があったように今年度計画分を完了した。

これらのことから、全体としてはA評価とした。

次年度に関しては、引き続き、今年度と同じ内容でいくこととした。

P D C AのAction（改善）については、今回行った広報に関する意見交換を踏まえて、県内のがんに関するフォーラム・講演会の参加者の増加に関して、「一般の方」を文言として追加することとした。

(3) その他

1) 一般の方向け講演会の開催曜日・時間帯について質問があり、意見交換を行った。

- ・滋賀県がん医療フォーラムは土曜日に開催した。
- ・成人病センターでは、がん関係のセミナーは土曜日の開催としている。  
また、がんや糖尿病、認知症などもテーマにした一般の方向けの健康に関する教室も開催している。平日の昼間に開催しているが、毎回100名程度の方が来られている。性別に関しては、男性も多く来られている。年齢層は高めと感じているが、健康への関心の高さによるものかと思われる。  
これらのことから、内容、興味を引くものかが重要なのではないかと感じている。
- ・平日の夜に来ていただくのは難しいのかもしれない。
- ・ケースバイケースなのかもしれないが、土曜日の午後は適しているのではないかと。

2) がん教育に関して質問があり、意見交換を行った。

- ・授業時間帯（木曜日の午後）に実施している。
- ・学校または教育委員会から依頼があり、その際に実施時間帯の提示がある。
- ・小学校では5、6年生、中学校では3年生に実施している。

- ・小中学校ともカリキュラムに組み込まれており、対象の9割程度に実施中。
- ・教員が、がん教育を実施している場合もある。

### 3) がん患者団体連絡協議会から

- ・がん教育では、患者も授業に参加しているが、市町により取組に温度差があると感じている。
- ・授業は、医師等からがんに関する解説の後、患者がその体験を語るという流れになっている。しかし、児童・生徒は、どうすれば予防できるのかといった解答を求めることに眼が向きがちで、がんになったときの気持ちにまで行き届かない感じがするので、分けて実施するほうが良いのではないかとも思う。
- ・広報に関しては、一般の者でも参加できるのかな、といったことが気になるので、一般参加可能であれば、はっきりと明示されていれど感じる。
- ・一般の者も、専門的な知識のニーズは高いと感じている。

### 【配布資料】

- (資料1-1) 平成28年度 がん関係フォーラム、講演会等開催予定数（開催場所医療圏別、対象者別、内容別）（平成29年1月末現在）
  - (資料1-2) 平成28年度 がん関係フォーラム、講演会等開催予定情報全体版（医療圏別）
  - (資料1-3) 資料1-1において、がん内容の区分が「その他」となっているものの一覧
  - (資料2) 滋賀県がん診療連携協議会研修推進部会 看護WG 平成28年度「がん看護研修Ⅱ」閉講式・平成27年度研修生フォローアップ研修
  - (資料3) 平成28年度 国立がん研究センター 都道府県指導者研修（県の推薦が必要な研修）受講予定一覧
  - (資料4) 各団体 平成28年度取組結果、平成29年度取組予定
  - (資料5-1) 滋賀県がん診療連携協議会アクションプランシート（研修推進部会）
  - (資料5-2) 平成28年度滋賀県がん診療連携協議会PDCAチェックリスト（研修推進部会）
- 研修推進部会 部会員名簿  
 前回議事概要（平成28年度 第2回研修推進部会 10月28日開催分）